

キャラクター名 《狂猫姫》 イゼベル=ユッド=ギメル

プレイヤー名

種族	ミアキス	種族特徴	暗視、猫変化、獣性の発露		
生まれ	射手	性別	Female	年齢	16
冒険者Lv	17	経歴	目標としている人がいる(いた)		
経験点	52500		有名人の友達がいる(いた)		
			伴侶がいる(いた)		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	器用度	5	50		72 + 1	12	シューター	17	レンジャー	9
	敏捷度	7	9		33	5	ソーサラー	10	セージ	9
体	筋力	6	18		28	4	コンジャラー	10	エンハンサー	7
	生命力	11	12		27	4	フェアリーティマー	10	アルケミスト	6
心	知力	18	28		50	8	マジテック	16		
	精神力	10	23		37	6	スカウト	9		

戦闘特技				言語	会話	読文
ルーンマスター	IB34 p	鷹の目	IB30 p	エルフ語	○	
トレジャーハント	2120p	武器習熟A/ガン	IB31 p	交易共通語	○	○
ファストアクション	2123p	武器習熟S/ガン	IB31 p	神紀文明語		○
影走り	2120p	魔法誘導	IB32 p	ドワーフ語	○	
治癒適性	2122p	魔法収束	IB39 p	汎用蛮族語	○	○
不屈	2123p	命中強化	IB32 p	魔動機文明語	○	○
ポーションマスター	2123p	魔法制御	IB32 p	魔法文明語	○	○
鋭い目	2120p	デュアルアクション	FC27p	妖精語	○	
弱点看破	2121p	零距离射撃	FC27p	妖魔語	○	
マナセーブ	2123p		p	ミアキス語	○	
精密射撃	IB30 p		p			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
メディテーション	
アンチボディ	
ストロングブラッド	
デーモンフィンガー	
スフィンクスノレッジ	
ワイドウィング	
パラライズミスト	
クラッシュファンク	
バークメール	
ヴォーパルウエボン	
イニシアチブブースト	
エンサイクロペディア	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	17	29	22	21

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	マナコートプラス	1	0	7
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値			0 7

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
破軍讚美歌第十三楽章 <small>創世器、射程50m、装弾数8、読み方は『デカテセリス・タナトイ』</small>	2H	20	2	2d+ 33	8	31											
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	35 m	105 m	2d+ 0	7	80	真語魔法	10	18			
						操霊魔法	10	18			
						深智魔法	10	18			
						妖精魔法	10	18			
						魔動機術	16	24			

装備品	説明
頭 ディスプレッサーガジェット	デクスポ装填インジェクター
耳 蝙蝠の耳飾り	
顔 フローティングスフィア大	
首 Bullet waiting for me	デクスタリティ装填
背中 マギスフィア大	
右手 巧みの指輪	
腰 多機能ガンベルト	
足 怪盗の足	
その他マギスフィア大	

その他メモ	自動失敗 チェック
一般技能 プロスティチュート4/リンギスト2/シンガー3/コック1 マジ16: リープレンジ	□□□□⑤
幼い少女はあまり活発とは言えず、明るい性格も持ち合わせてはなかった。1人で好きなことをしている方が性に合っていたし、もとより家族というものにも乏しかった。小さな体と小さな銃で獣を狩り、射手の腕を磨きながら魔法を学び、一匹狼のような形で生きていた。そんな彼女にも友達はいた。自分よりふたつも年下なのに、自分よりも強くて、明るくて、自分のようなはぐれ者にも親しくしてくれて。そんな強さが羨ましかった。……ある日、喧嘩をした。彼女の卑屈さが生んだ事件だった。友達は怪我をして、記憶を失った。病氣にもなった。先が長くはないと言われ、気が狂れる思いだった。少女は逃げた。元からの折れやすかった少女は、簡単におかしくなってしまった。たくさん殺した。無我夢中で、蛮族だろうが獣だろうがお構いなく、森の中で暴れた。殺されたかたはずなのに、ただただ殺し続けた。体を売った。自分は弱虫だ、ゴミクズだと、心を擦り減らして、自分を虐めた。奴隷に堕ちたかたは善なのに、客がついて奇妙な感じがした	□□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕

